

令和7年度 広島県青少年の インターネット利用状況調査【結果】

令和7年9月
広島県 環境県民局 県民活動課

目次

調査概要	1
1 青少年のインターネット利用状況	
（1）インターネット利用率・利用機器	2
（2）機器の専用・共用	3
（3）利用内容	4
（4）利用時間	5
2 インターネット利用に関する家庭のルールの有無	6
3 子供のインターネット利用に関する保護者の取組	7
4 インターネット利用に関する啓発や学習の経験	
（1）青少年	8
（2）保護者	9
5 フィルタリングについて	10

調査概要

1 調査目的

青少年及び保護者のインターネット利用状況について把握し、青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境づくりに向けた取組の参考にする。（「青少年」とは、満10歳から満17歳にある者をさし、その保護者を「保護者」と表記する。）

2 調査期間

令和7年6月13日～6月14日

3 調査方法

インターネットパネル※を利用したアンケート調査

※調査会社の登録会員に対して、WEB画面上のアンケートなどのリサーチを実施する手法

4 調査対象

満10歳から満17歳までの青少年の保護者（478人）

※青少年への調査項目は、保護者が本人から聞き取り回答

区 分	全 体	小学生	中学生	高校生
男	296人	87人	110人	99人
女	182人	70人	50人	62人
計	478人	157人	160人	161人

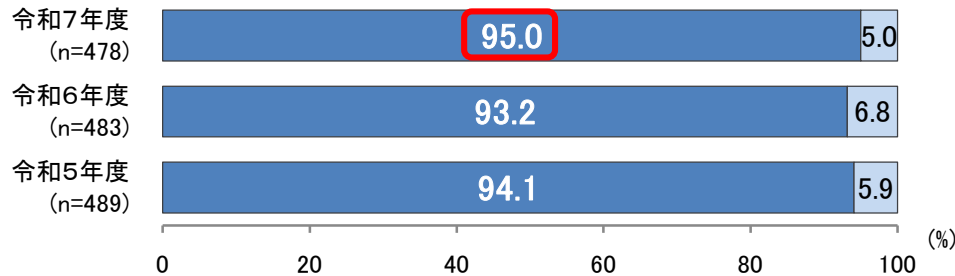
5 その他

- (1) 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、百分率の合計が100%にならないことがある。
- (2) 質問文の中に、複数回答が可能な質問があるが、その場合回答の合計は調査数を上回ることがある。
- (3) 図中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (4) グラフ、図表、文中に示すnは、比率算出上の基数（標本数）を表している。

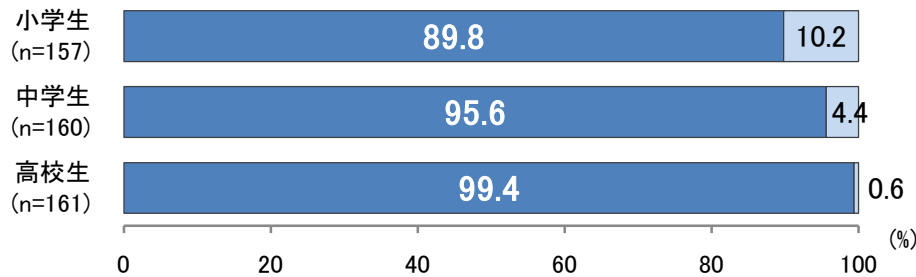
1(1) 青少年のインターネット利用状況（インターネット利用率、利用機器）

- ▶ 青少年の95.0%がインターネットを利用していると回答。[令和6年度：93.2%、+1.8ポイント]
 - ▶ 学校種別では、小学生の89.8%、中学生の95.6%、高校生の99.4%がインターネットを利用していると回答。
 - ▶ インターネット利用機器については、「スマートフォン」との回答が68.4%と最も高く、次いで「自宅用のパソコンやタブレット等」（36.0%）、「学校から配布・指定されたパソコンやタブレット等」（35.4%）が上位。
 - ▶ インターネット利用機器のうちスマートフォン利用率は、小学生(35.0%)、中学生(78.1%)、高校生（91.3%）と学校種が上がるにつれ高くなっている。
- ※インターネット利用率・利用機器は、保護者が子供の状況について回答したもの

○インターネット利用率



【学校種別】

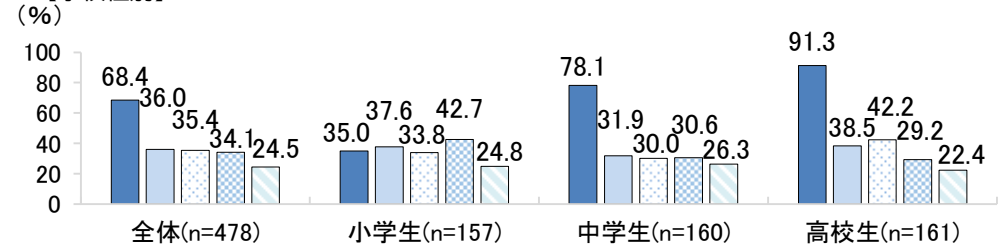


■ インターネットを利用している ■ インターネットを利用していない

○インターネット利用機器(上位5位)

区分	令和7年度 (n=478)	令和6年度 (n=483)	令和5年度 (n=489)
[A]スマートフォン	68.4	73.3	71.6
[D]自宅用のパソコンやタブレット等	36.0	36.0	40.9
[E]学校から配布・指定されたパソコンやタブレット等	35.4	35.4	36.2
[F]ゲーム機	34.1	32.1	30.3
[G]テレビ	24.5	22.4	21.5

【学校種別】



■ [A]スマートフォン ■ [D]自宅用のパソコンやタブレット等
 ■ [E]学校から配布・指定されたパソコンやタブレット等 ■ [F]ゲーム機 ■ [G]テレビ

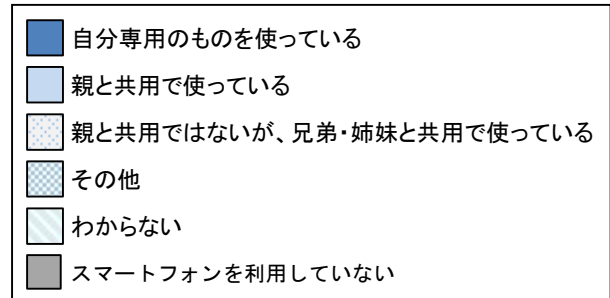
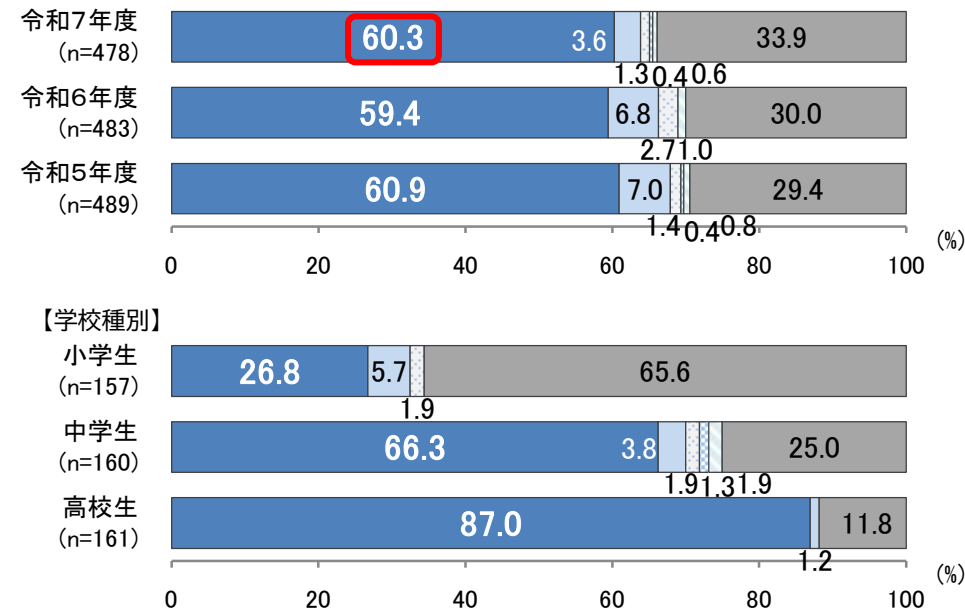
1(2) 青少年のインターネット利用状況（機器の専用・共用）

- 自分専用のスマートフォンでインターネットを利用している割合は60.3%となっている。
[令和6年度：59.4%、+0.9ポイント]
- 学校種別では、小学生(26.8%)、中学生(66.3%)、高校生（87.0%）と学校種が上がるにつれ高くなっている。

○青少年の各機器の専用・共用状況 n=483

区分	子供専用	親と共用	兄弟・姉妹と共用	その他	わからない
[A]スマートフォン	60.3	3.6	1.3	0.4	0.6
[B]契約していないスマートフォン	6.1	4.2	1.9	-	0.4
[C]携帯電話	1.3	0.2	0.6	0.4	0.2
[D]自宅用のパソコンやタブレット等	15.5	16.3	2.1	0.2	0.6
[F]ゲーム機	13.0	6.9	9.4	0.4	0.6
[G]テレビ	2.9	14.4	1.3	0.2	0.4

○スマートフォンの専用・共用状況



1(3) 青少年のインターネット利用状況（利用内容）

- ▶ インターネットを利用する内容は、「動画を見る」との回答が75.9%と最も高く、次いで「ゲームをする」（62.3%）、「検索する」（54.9%）が上位。[令和6年度：「動画を見る」（79.4%）、「ゲームをする」（67.1%）、「検索する」（59.1%）]

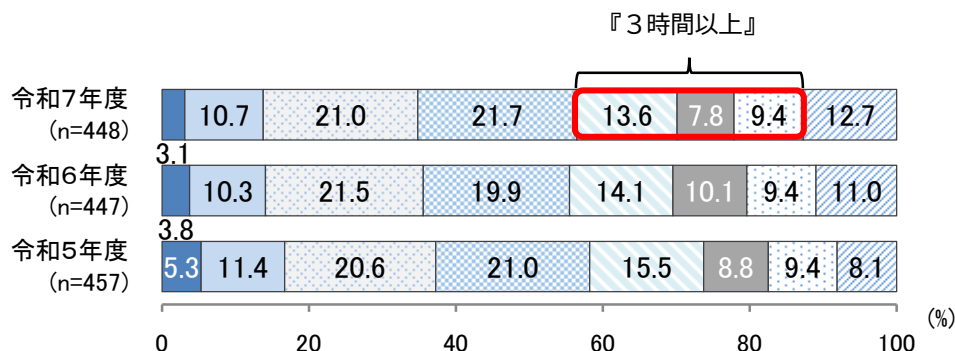
○青少年のインターネットの利用内容（[A]～[G]いずれかの機器・スマートフォン）

		(%)												
区分		投稿や メッセージ 交換を する	ニュースを みる	検索する	地図を使う	音楽を聴く	動画を 見る	読書を する	マンガを 読む	ゲームを する	買い物を する	勉強を する	撮影や 制作記録 をする	その他
い ず れ か の 機 器	【経年比較】													
	令和7年度(n=448)	48.9	27.9	54.9	28.8	52.2	75.9	11.6	21.9	62.3	6.5	45.1	18.1	5.1
	令和6年度(n=447)	53.5	28.4	59.1	26.6	51.2	79.4	11.9	23.0	67.1	7.8	47.0	17.7	6.5
	令和5年度(n=457)	54.3	29.8	63.7	24.3	53.2	79.9	9.8	26.0	64.1	7.9	47.3	16.0	3.5
	【学校種別(令和7年度)】													
	小学生(n=140)	29.3	13.6	49.3	19.3	34.3	65.7	5.7	9.3	59.3	1.4	37.1	13.6	5.0
	中学生(n=150)	46.7	26.7	51.3	22.0	49.3	78.0	12.7	16.7	59.3	4.7	42.7	15.3	4.0
	高校生(n=158)	68.4	41.8	63.3	43.7	70.9	82.9	15.8	38.0	67.7	12.7	54.4	24.7	6.3
ス マ ー ト フ ォ ン	【経年比較】													
	令和7年度(n=316)	62.7	30.4	54.7	32.0	59.5	78.2	9.8	26.6	61.7	7.6	28.5	18.7	1.3
	令和6年度(n=338)	61.8	30.2	61.5	29.3	56.8	79.3	10.7	26.6	60.1	8.3	26.0	14.2	2.1
	令和5年度(n=345)	66.3	30.2	63.9	28.4	60.1	80.2	9.5	31.4	57.4	8.3	26.3	14.8	0.9
	【学校種別(令和7年度)】													
	小学生(n=54)	57.4	14.8	50.0	20.4	35.2	59.3	1.9	16.7	50.0	3.7	11.1	13.0	1.9
	中学生(n=120)	51.7	24.2	46.7	22.5	51.7	75.8	10.8	16.7	58.3	4.2	24.2	14.2	2.5
	高校生(n=142)	73.9	41.5	63.4	44.4	75.4	87.3	12.0	38.7	69.0	12.0	38.7	24.6	-

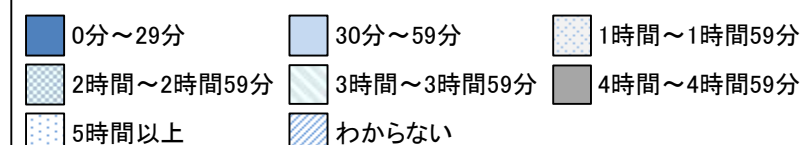
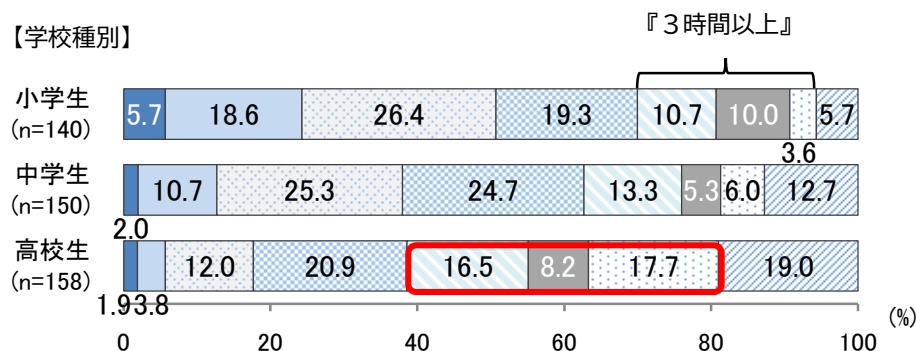
1(4) 青少年のインターネット利用状況（利用時間）

- ▶ インターネット機器の合計利用時間は、『3時間以上』との割合が30.8%となっている。[令和6年度：33.6%、▲2.8ポイント]
- ▶ 学校種別では、『3時間以上』の割合が高校生で42.4%と最も高くなっている。
- ▶ 目的ごとの利用時間では、『2時間以上』の割合が趣味・娯楽で25.7%と最も高くなっている。

○インターネット機器の合計利用時間

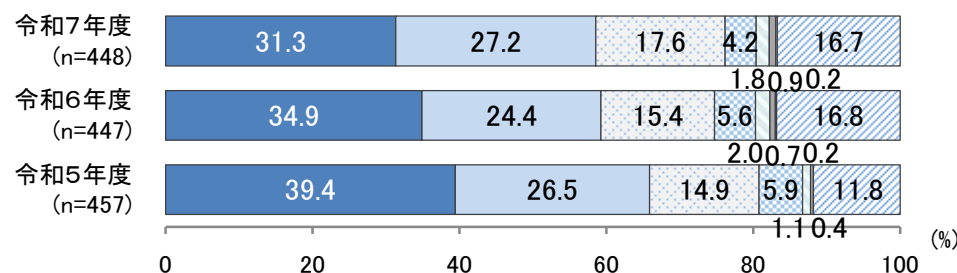


【学校種別】

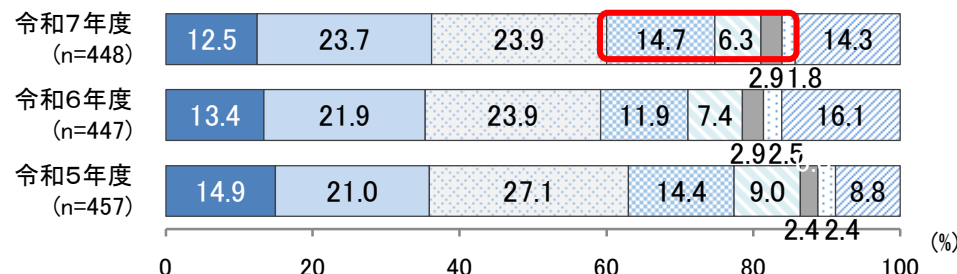


○目的別の利用時間

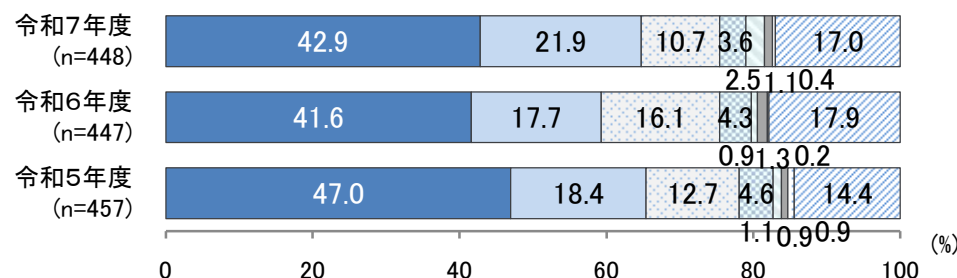
【勉強・学習・知育】



【趣味・娯楽】



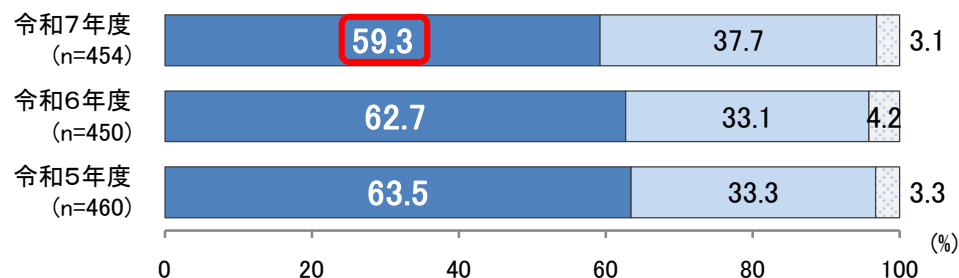
【保護者・友人等とのコミュニケーション】



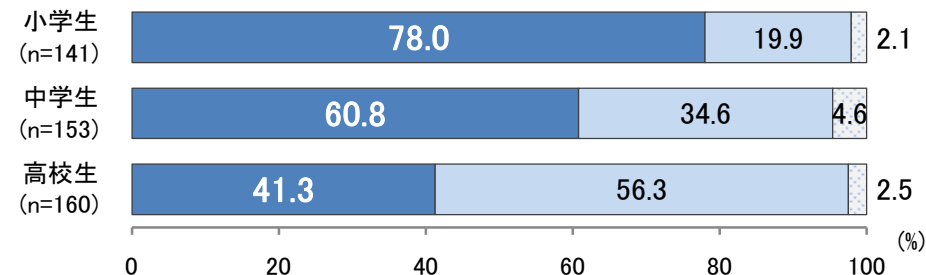
2 インターネット利用に関する家庭のルールの有無

- ▶ 家庭でのルールの有無について、保護者（59.3%）と青少年（61.8%）で大きな差はみられない。
[令和6年度：保護者62.7%、▲3.4ポイント、青少年60.0%、+1.8ポイント]
- ▶ 学校種別では、学校種が上がるにつれ、保護者・青少年ともに「ルールを決めている」認識が低くなる。

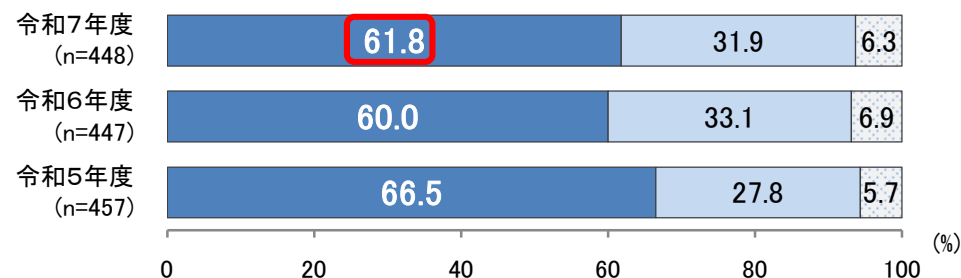
○ルールの有無に関する保護者の認識



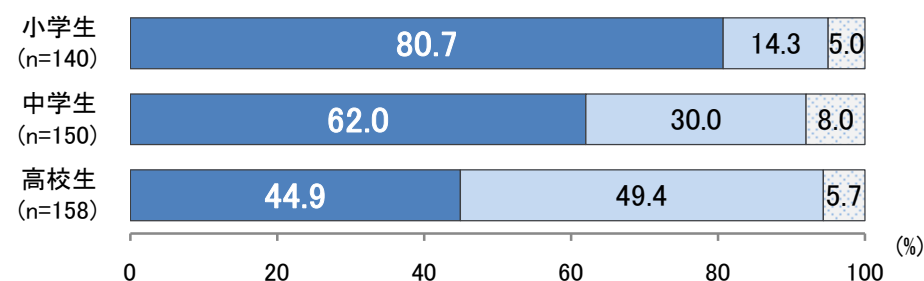
【学校種別】



○ルールの有無に関する青少年の認識



【学校種別】



ルールを決めている
 ルールを決めていない
 わからない

3 インターネット利用の管理有無

- ▶ スマートフォンを利用する青少年の保護者の70.0%が、いずれかの方法で子供のインターネット利用を管理していると回答。
[令和6年度：77.7%、▲7.7ポイント]
- ▶ 学校種別では、いずれかの方法で管理していると回答した保護者の割合は、学校種が上がるにつれ低くなっている。
- ▶ 実施している取組では、「利用していてもよい時間や場所を決めて使わせている」との回答が32.7%と最も高くなっているものの、令和6年度調査（34.7%）を2.0ポイント下回っている。
- ▶ 「フィルタリングを使っている」割合は32.1%となっている。[令和6年度：30.5%、+1.6ポイント]

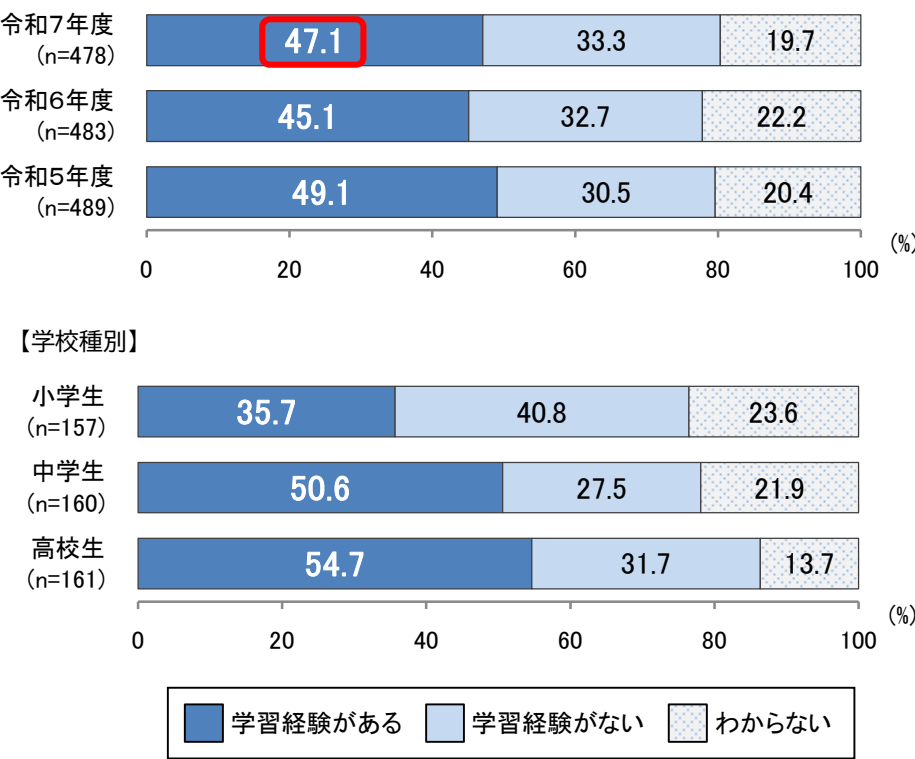
○インターネット利用の管理有無（スマートフォン）

スマートフォン利用者における管理方法の内訳 ※複数回答可													(%)
区分	(管理している) (計)	使見え目の	るめ時利	いプた対	か間れ何	間機	をフ	制しサ O	を他の課	はネット利用の管理 子供のインターネット利用の管理			
		わえの前(画面)で	て間用し 使や場所を わ場もを せをよ い決	るリサ象 を1年 使ビ わスに せやあ てア	か間れ何 把くを 握使ら(内 しつて(容 いい時ど るる	間機 管器 理の し設 定で る時	をフ 使 つ ル タ イ リ ン グ	制しサ O 限てコ ビ をシス 事 イン 業 ツ用 者 提供	を他の課 行の金 つ目的 て管理 いで る理				
【経年比較】													
令和7年度 (n=327)	70.0	12.8	32.7	26.9	19.3	13.5	32.1	6.7	13.1	30.0			
令和6年度 (n=354)	77.7	15.5	34.7	30.8	22.9	12.4	30.5	6.2	16.9	22.3			
令和5年度 (n=350)	78.8	18.6	41.5	28.8	19.8	12.7	30.8	7.9	18.1	21.2			
【学校種別 (令和7年度)】													
小学生 (n=55)	94.5	27.3	45.5	36.4	38.2	18.2	52.7	10.9	18.2	5.5			
中学生 (n=125)	82.4	8.8	43.2	36.0	24.0	19.2	38.4	9.6	12.8	17.6			
高校生 (n=147)	50.3	10.9	19.0	15.6	8.2	6.8	19.0	2.7	11.6	49.7			

4 (1) インターネット利用に関する啓発や学習の経験（青少年）

- ▶ インターネット利用に関する学習経験がある青少年は、47.1%となっている。[令和6年度：45.1%、+2.0ポイント]
- ▶ 学校種別では、学習経験がある青少年の割合は、学校種が上がるにつれ高くなっている。
- ▶ 啓発や学習を受けた機会では、「学校・保育所・幼稚園等」との回答が85.3%と最も高くなっている。
[令和6年度：90.4%、▲5.1ポイント]

○青少年のインターネット利用に関する学習経験の有無



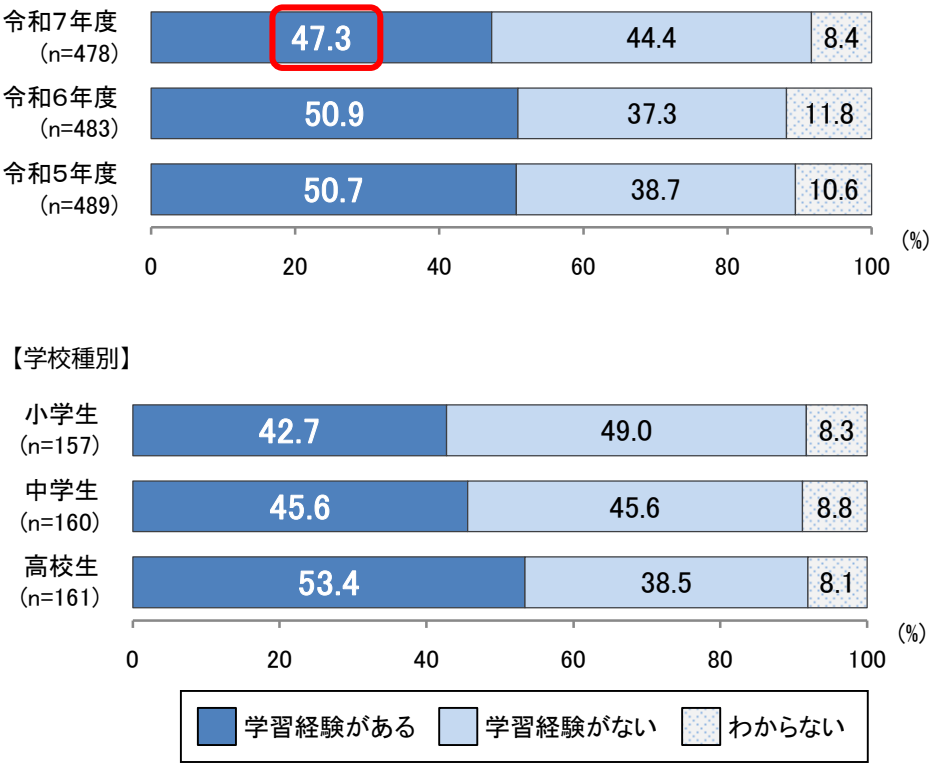
○青少年のインターネット利用に関する啓発や学習を受けた機会

区分	幼稚園・等保育所・	親（保護者）	兄弟・姉妹	販売員の購入時の	機器の購入時の	資料の購入時の	友達	テレビや本などパ	インターネット	その他
【経年比較】										
令和7年度 (n=225)	85.3	41.3	7.1	7.6	2.7	6.7	13.8	12.4	-	-
令和6年度 (n=218)	90.4	40.4	6.9	5.5	2.8	8.3	10.1	10.1	-	-
令和5年度 (n=240)	88.8	37.1	4.6	4.6	1.3	11.7	8.3	8.8	0.4	-
【学校種別（令和7年度）】										
小学生 (n=56)	80.4	37.5	7.1	5.4	1.8	1.8	17.9	12.5	-	-
中学生 (n=81)	84.0	43.2	7.4	9.9	3.7	7.4	14.8	14.8	-	-
高校生 (n=88)	89.8	42.0	6.8	6.8	2.3	9.1	10.2	10.2	-	-

4 (2) インターネット利用に関する啓発や学習の経験（保護者）

- ▶ インターネット利用に関する学習経験がある保護者は、47.3%となっている。[令和6年度：50.9%、▲3.6ポイント]
- ▶ 啓発や学習を受けた機会では、「学校や保育所・幼稚園等の保護者会やPTAの会合など」との回答が52.2%と最も多い。
[令和6年度：51.2%、+1.0ポイント]

○保護者のインターネット利用に関する学習経験の有無



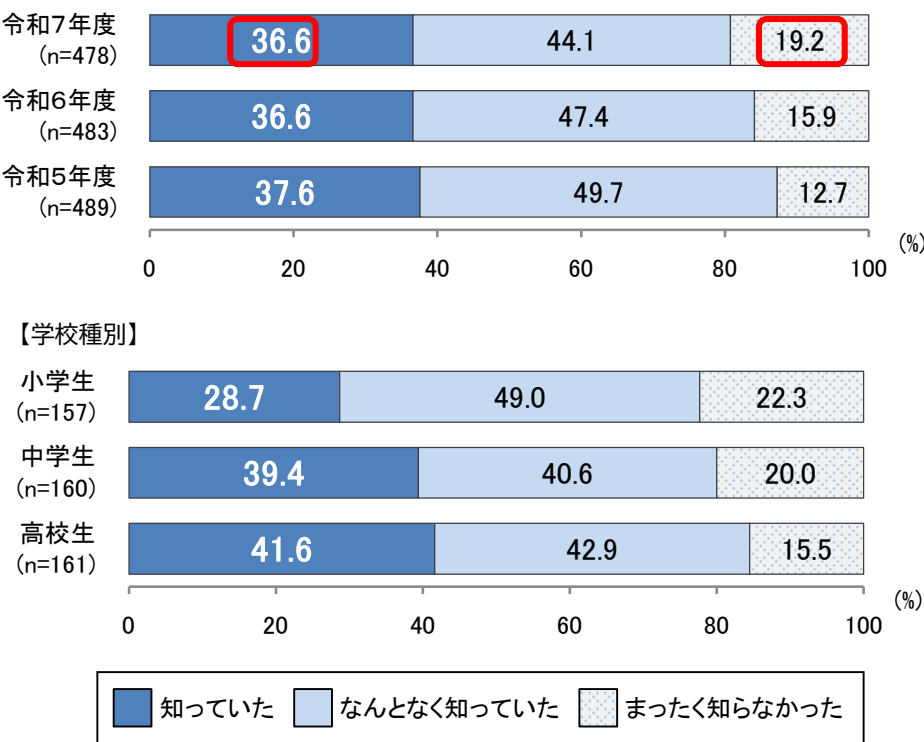
○保護者のインターネット利用に関する啓発や学習を受けた機会

区分	学校やPTAの会合など	付された保育所・幼稚園等から配	国・地方公共団体や民間団体が	病院（産科、小児科等）	機器の購入時の販売員	機器の購入時の資料	友人	保護者同士の会話	テレビや本・パンフレットなど	インターネット	に保護者自身が生徒・学生の時に	その他
【経年比較】												
令和7年度 (n=226)	52.2	40.3	8.0	2.2	7.5	4.9	6.2	9.7	31.0	33.6	9.3	0.4
令和6年度 (n=246)	51.2	39.4	10.2	2.0	6.9	8.5	8.9	15.9	24.8	30.5	7.7	0.4
令和5年度 (n=248)	52.8	39.5	5.6	1.6	3.6	6.5	9.3	18.1	25.8	31.0	9.7	1.2
【学校種別（令和7年度）】												
小学生 (n=67)	40.3	40.3	11.9	3.0	1.5	4.5	6.0	9.0	37.3	40.3	10.4	-
中学生 (n=73)	57.5	39.7	8.2	2.7	8.2	5.5	11.0	11.0	24.7	31.5	11.0	-
高校生 (n=86)	57.0	40.7	4.7	1.2	11.6	4.7	2.3	9.3	31.4	30.2	7.0	1.2

5 フィルタリングについて

- 保護者のフィルタリングの認知度について、「知っていた」は36.6%、「まったく知らなかった」は19.2%となっている。
[令和6年度：36.6%、+▲0.0ポイント]
- 保護者が、子供の使用するスマートフォンにフィルタリングを利用しない理由は、「インターネットやスマートフォンの使い方について、子供を信用しているから」との回答が47.1%と最も多い。
[令和6年度：47.0%、+0.1ポイント]

○フィルタリングの認知度



○スマートフォンでフィルタリングを使用していない理由

区分	理由 (%)										
	インターネットやスマートフォンについて、子供を信用しているから	フィルタリングの必要性がわからないから	フィルタリングの必要性がわからないから	フィルタリングの必要性がわからないから	フィルタリングの必要性がわからないから	フィルタリングの必要性がわからないから	フィルタリングの必要性がわからないから	フィルタリングの必要性がわからないから	フィルタリングの必要性がわからないから	フィルタリングの必要性がわからないから	その他の理由でフィルタリングをしない
【経年比較】											
令和7年度 (n=263)	47.1	21.3	14.4	11.4	8.0	6.1	14.1	4.6	4.6	1.5	1.5
令和6年度 (n=266)	47.0	25.2	12.4	9.8	5.3	3.0	10.5	7.5	1.9	3.0	2.6
令和5年度 (n=262)	48.9	25.6	17.9	13.0	5.0	3.1	8.8	4.2	2.7	4.6	0.4
【学校種別 (令和7年度)】											
小学生 (n=52)	40.4	19.2	7.7	15.4	7.7	7.7	9.6	7.7	11.5	5.8	-
中学生 (n=90)	46.7	24.4	18.9	10.0	11.1	2.2	16.7	4.4	2.2	1.1	1.1
高校生 (n=121)	50.4	19.8	14.0	10.7	5.8	8.3	14.0	3.3	3.3	-	2.5